

Press Release

2007 年 7 月 12 日

DTL が Linux Networx 社の LS-P Supersystem を導入

30 倍の処理速度で構造解析をより高速に、より高精度に

森精機製作所は、米国カリフォルニア州サクラメントを拠点とする DTL(Digital Technology Laboratory Corporation) において Linux Networx 社の スーパーコンピュータ LS-P Supersystem を導入いたしました。

DTL は森精機製作所のアプリケーション開発や要素技術開発・分析を担う IT 技術の最前線拠点であり、高度な技術を駆使して日本から送られた設計データの 構造解析 を行っています。構造解析には主に静剛性・動剛性および熱変位解析があり、構造物の運動を数式化することによりコンピュータ上で計算を行い構造物の状態の変化を見る手法です。今まではこれら解析を一般的なデスクトップパソコンで行っていましたが、近年、開発期間の短縮および高精度な構造解析への要求が急速に高まり、その実現のために LS-P Supersystem を今年 6 月より導入いたしました。

LS-P Supersystem とは解析システムの最適化を行う Linux ベースのスーパーコンピュータであり、工作機械の 3 次元モデル生成やシミュレーションをより高速かつ高精度に行うことができます。このシステムの導入により、以前は 3,000 秒かかっていた処理を 100 秒で完了させることができ、30 倍の処理速度 となることが実証されています。また、より高精度な解析を通して構造のさらなる最適化を図ることができます。

森精機製作所は、迅速かつ高精度な構造解析を通して最適構造を実現した機械を速やかに市場へ投入していき、それにより世界のものづくりの発展に貢献していきます。

■Linux Networx 社について

米国ユタ州を拠点とする Linux ベースのスーパーコンピュータの大手サプライヤーです。同社のスーパーコンピュータはコストパフォーマンス、システム全体の信頼性、総所有コストなどあらゆる点において世界中から評価を受けています。これまでに 500 セット以上のスーパーコンピュータシステムを世界中の 200 社以上の企業に納入しています。